

◎他大学との連携強化について

京都工芸繊維大学と「知的財産権の技術移転仲介に関する契約」を、平成24年9月末日で締結し、京都工芸繊維大学のシーズの取り扱いを開始しました。同大学には実用的でユニークなシーズが多く、企業の方々に有用な情報提供が行えると期待しております。

また、中部地区の私立大学、北海道、東北地区の大学との連携も今後作業を進める予定です。より多くの大学の有用な情報提供を目指して参ります。今後ともご支援を宜しくお願い致します。

イベント

◎イベント・講演会等の開催・共催

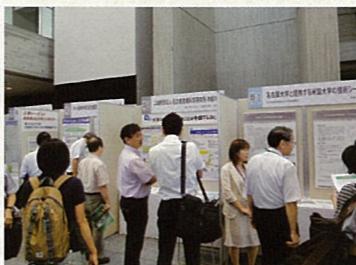
- 2012年 3月12日 次世代自動車地域産学官フォーラム・合同セミナー・シンポジウム＆ラボツアー（名古屋市・名古屋大学B電子情報館）
- 2012年 3月21日 第3回次世代自動車公開シンポジウム（名古屋市・名古屋大学野依記念館）
- 2012年 3月23日 次世代自動車地域産学官フォーラム・技術開発セミナー＆ラボツアー（豊橋市・豊橋技術科学大学）
- 2012年 6月14日 第4回次世代自動車公開シンポジウム（名古屋市・名古屋大学ESホール）
- 2012年 8月 7日 第5回次世代自動車公開シンポジウム（名古屋市・名古屋大学ESホール）
- 2012年 9月13日 TECH Biz EXPOイベント国際フォーラム2012（名古屋市・名古屋市中小企業振興会館）
- 2012年 9月27日 企業向け講演会（愛知県刈谷市内）
- 2012年10月9日～10日 第3回NCECSシンポジウム／合同／第6回次世代自動車公開シンポジウム（名古屋市・名古屋大学ESホール）
- 2012年11月28日 第7回次世代自動車公開シンポジウム（名古屋市・ポートメッセなごや・名古屋国際展示場）
- 2012年11月29日 次世代自動車地域産学官フォーラム・技術開発セミナー（名古屋市・ポートメッセなごや・名古屋国際展示場）
- 2012年11月30日 第8回次世代自動車公開シンポジウム（名古屋市・ポートメッセなごや・名古屋国際展示場）
- 2013年 1月25日 中部公立3大学新技術説明会（東京都・JSTホール）
- 2013年 2月 8日 第9回次世代自動車公開シンポジウム（名古屋市・名古屋大学野依記念館）
- 2013年 2月13日 次世代自動車技術開発セミナー（名古屋市・SMBCパーク）
- 2013年 3月11日 中部TLO先進技術セミナー（名古屋市・名古屋大学）

[画:鈴木國夫]



◎各種フェア等への出展・参加

- 2012年 4月25日～27日 BioTec 2012（東京都・東京ビックサイト）
- 2012年 8月31日 テクノ・フェア名大 2012（名古屋市・名古屋大学豊田講堂）
- 2012年8月28日～29日 大阪商工会議所主催疾患別商談会（大阪市）
- 2012年9月27日～28日 イノベーションジャパン 2012（東京都・国際フォーラム）
- 2012年10月 1日 材料バックキャストテクノロジーシンポジウム（名古屋市・名古屋大学ESホール）
- 2012年10月 4日 第4回関西医療機器・開発・製造展（大阪市・インテック大阪）
- 2012年10月10日～12日 国際バイオEXPO（横浜市・パシフィコ横浜）
- 2012年12月 4日 中部地区医療バイオ系シーズ発表会（名古屋市・ウインク愛知）
- 2012年12月 7日 愛工大テクノフェア「創造・ひとづくり・ものづくり」（名古屋市・愛知工業大学）
- 2013年3月20日～22日 AUTM Asia 2013 KYOTO（京都市・国立京都国際会館）



編集後記

高橋和巳「わが解体」の中に立命館大学の中国学のS教授に関する一文がある。要約すると、「大学紛争華やかかりし頃のこと、学生による全学封鎖の中でも、その研究室はいつも深夜まで明かりがついている。バリケードの中に立てこもる学生たちはそれが気になってしまっていい。その教授が学生の団交に顔を出すと一瞬、雰囲気が変わる。学生はその教授から学問の威儀を嫌でも感じてしまうからだ。」というものである。

私は大学人のこの気高さが好きであり、大学本来の姿であると信じている。翻って産学連携を企図するとき、学究活動を経済や政治の枠組みの中で語ってはならないとつくづく思う。今まで産学連携は、全く異なる焦点を持つ「産」と「学」の接点を妥協や融合という形で見出す努力をしてきた。しかし、それは双方のポテンシャルを下げ、お互いのエネルギーを低い位置で安定させるだけの作業に過ぎなかつたのではないか。産学連携の形態は、二つの焦点を持つ「ゆがんだ真珠（パロック）」であることを再認識し、それらの焦点に補助線を結ぶ新たな方法論を見つけ出す努力こそ必要である。ちょうどルネサンスからパロックへ移行するときにマニエリズムという方法論があったように、補助線はどちらか一方の焦点を起点として延びてくるものではない。この補助線はどこへも端を発しない「外」からしか引くことが出来ない。と私は信じている。（羽田野）

公益財団法人 名古屋産業科学研究所 中部TLO
Chubu Technology Licensing Office (CTLO)

財団本部
〒460-0008 名古屋市中区栄2丁目10-19 名古屋商工会議所ビル
TEL: 052-223-6639 FAX: 052-211-6224

中部TLO
〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学VBL棟4階
TEL: 052-783-3517 FAX: 052-788-6012

CTLO 検索
E-mail:ctlo@nisri.jp URL:www.ctlo.org

CTLO Today(中部TLOニュース) No.13
2013年2月28日 発行

[目次]	
[応援演説]	
中部コンソーシアム・総合医療イノベーションクラスター構想	
名古屋大学 大学院創薬科学研究科 産学官連携ユニット 赤池 昭紀	1P
[中部TLOの新しい取り組み]	
次世代自動車関連技術の産学官連携支援	2P
[実用化事例]	
比色法によるD-セリン定量キットの商品化	
コスモ・バイオ株式会社 開発部 内田 哲雄	3P
日常生活を支援する	
無動力片脚式歩行支援機の技術開発	
株式会社 今仙技術研究所 企画開発課 鈴木 光久	3P
[研究室紹介]	
気-液混合型マイクロリアクターを活用する	
光酸素酸化反応の実用化への展開	
岐阜薬科大学 創薬化学大講座 伊藤 彰近	4P
合成薬品製造学研究室	
siRNAを用いた制御性T細胞の	
作製方法の開発	
名古屋市立大学 大学院医学研究科 鈴木 元彦	4P
耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	
リンコマイシンを発現誘導剤とした	
大腸菌でのリコンビナント蛋白の発現系	
藤田保健衛生大学 医学部 有満 秀幸	5P
微生物学講座	
リンパ球性漏斗下垂体後葉炎の	
診断法の確立	
名古屋大学 大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学	
椎村 益久	5P
広帯域超短パルスファイバレーザー光源の	
開発と先端光計測への応用	
名古屋大学 大学院工学研究科 西澤 典彦	6P
電子情報システム専攻	
超精密加工のための位置決め装置・	
計測制御装置の開発	
愛知工業大学 工学部 鳥井 昭宏	6P
電気学科	
CTLOトピックス	
イベント 特許講演会・交流会等の開催・各種フェア等への出展	

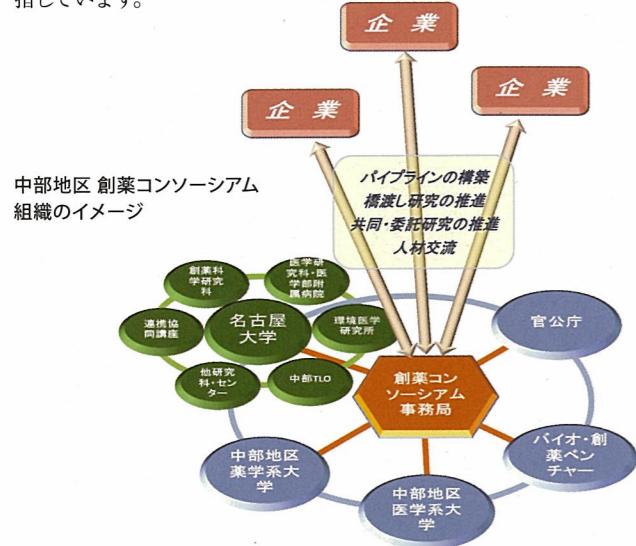


中部コンソーシアム・総合医療イノベーションクラスター構想

名古屋大学 大学院創薬科学研究科
産学官連携ユニット 教授 赤池 昭紀

はじめに

平成24年4月に名古屋大学に創薬科学研究科修士課程が開設されました。本研究科は、名古屋大学の待望久しい薬系大学院である。教授8名からなる小規模な組織ながら、生命科学、天然物化学、有機合成化学等の多くの研究者が結集し、多分野を横断的に融合した創薬科学研究を推進しています。このような中で、私自身も昨年4月に産学官連携ユニット教授として創薬科学研究科に赴任し、中部TLOの方々と協同して中部地区の創薬コンソーシアムの立ち上げに向けた活動を開始しました。これまでに京都大学で創薬基礎科学の研究に関わってきた経験を活かし、名古屋大学を始めとする中部地区の大学、研究機関、ベンチャー企業に蓄積された研究成果、知財を大手製薬企業等に橋渡しをする組織の構築を目指しています。



創薬コンソーシアム構想

中部地区には、高い研究アクティビティー、革新的技術、独創的創薬シーズを持つ医学系、薬学系、健康科学系学部の大学が数多く存在し、さらに、バイオベンチャー企業、創薬ベンチャー企業も多い。しかし、中部地区的コアとなる名古屋大学に薬学部がなかったこと、また、大手製薬企業の本社、研究所が関東と近畿に偏在していることなどの理由で、中部地区的アカデミアと製薬企業との間に十分なパイプラインが構築されていない。

優れた研究成果を企業との連携により実用化することは、創薬に限らずどの分野でも重要なことではあるが、基礎から臨床に至る研究コストが極めて高額となる創薬では、実用化に向けた企業との連携が不可欠である。さらに、新規医薬品の創製に向けた探索研究が極めてハイリスク・ハイリターンになりつつあり、企業の側もアカデミアとの連携を求めるようになってきた。創薬に向けたバイオクラスター、コンソーシアム組織としては、米国（サンディエゴ）や欧州が先行しており、これら海外の組織と連携し、中部地区に大学やベンチャー企業の研究成果を製薬企業に橋渡し、他施設、企業の研究連携により、新規医薬品の創出、新規診断・治療法の開発に向けた実現組織の構築を目指している。

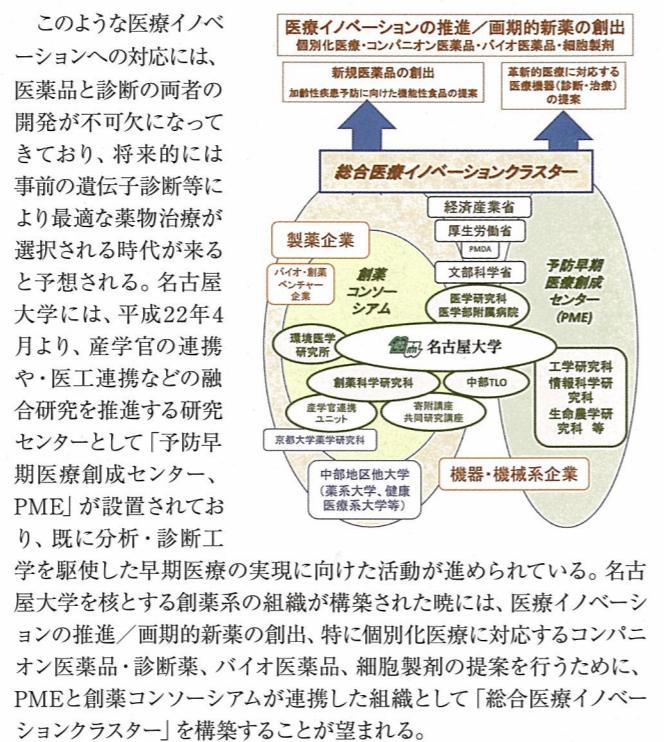
総合医療イノベーションクラスター構想

iPS細胞の臨床応用、抗癌薬等におけるコンパニオン診断や抗体医薬の適用など、従来の医薬品の範疇を超えた新たな医薬品（バイオ医薬品、細胞製剤など）が大きな広がりを持ってきている。



赤池 昭紀

1974年 京都大学薬学部卒業
1979年 京都大学大学院薬学研究科博士課程修了
1979年 日本学術振興会奨励研究員（京都大学薬学部）
1980年 京都大学医学部薬理学講座 助手、次いで講師
1989年 福山大学薬学部神經薬理学教室 助教授、
次いで教授
1994年 京都大学大学院薬学研究科薬品作用解析学分野 教授
2012年 名古屋大学大学院創薬科学研究科 教授、
京都大学大学院薬学研究科客員教授、名誉教授



おわりに

高齢化が進む我が国の現状の中で健康長寿の実現に向けた実用化研究の推進は喫緊の課題である。今後は、従来の医薬品に加えて、バイオ医薬品、細胞・組織製剤を加え、診断から予防・治療まで総合的に行う革新的医療が展開されて行くであろう。このような医療イノベーションを推進するためには、産業（製薬企業）、学（大学）、官（中部TLO）が一体となって、医学・薬学の研究成果の実用化を図る必要がある。

今回紹介した組織については、今年には創薬コンソーシアム準備室を設置する予定であり、3~4年でイノベーションクラスターまで持っていく計画を立てている。中部地区は地域的にも日本の中にあり、多くの方に参画いただいて社会に貢献できる組織作りを行っていきたい。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

一中部TLOの新しい取り組みー

次世代自動車関連技術の产学官連携支援

中部TLOでは、昨年に引き続き世界最強の次世代自動車クラスター形成に向けたプラットフォームの構築を行っております。活動成果として、技術領域8分野の研究会でプロジェクト化を図りました。また、中部経済産業局より中部地区の技術シーズを一括発信できるWEBサイトが立ち上がり、中部TLOは次世代自動車地域産学官フォーラム事務局として、企業とのマッチングを推進しています。

（次世代自動車地域産学官フォーラム：中部経済産業局補助事業）

【活動成果-1】 研究会からプロジェクトへの進展

8技術分野の研究会は中部地域の大学等12の研究機関と多数の企業で構成されています。
中部TLOは研究会からプロジェクトへの進展を支援しています。

金沢大 岐阜大 静岡大 名大 名工大 豊橋技科大 三重大 愛知県立大 豊田高専 中部大 豊田工大 産総研

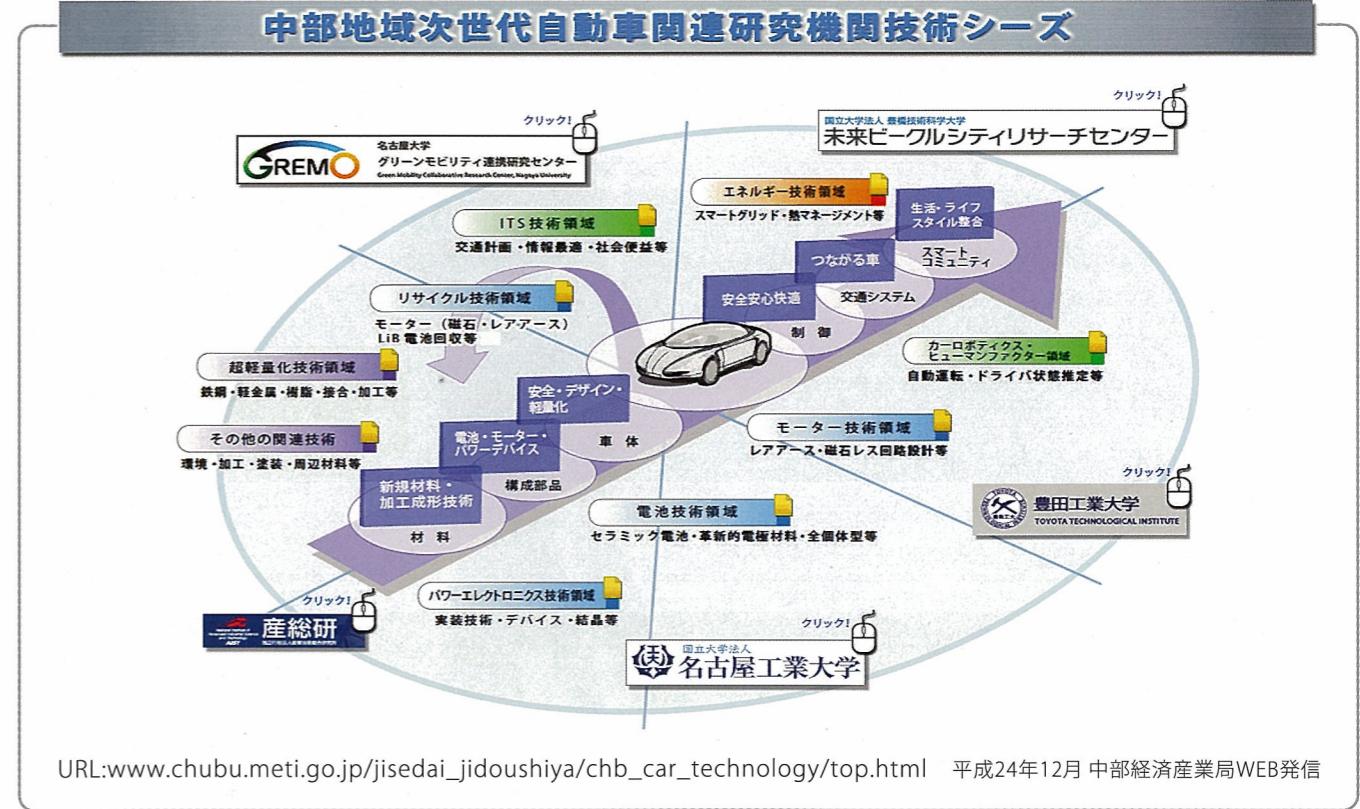
技術領域8分野の産学連携プロジェクト化研究会

- ① 電池 ナショナルプロジェクト提案
- ② パワーエレクトロニクス NEDOプロジェクト採択 → 技術研究組合立ち上げ
- ③ モータ ナショナルプロジェクト採択
- ④ 超軽量化 有力企業向けプレゼン
- ⑤ リサイクル 技術シーズの見える化
- ⑥ カーロボ・ヒューマンファクター 共同研究
- ⑦ ITS 技術シーズの発信
- ⑧ エネルギー 有力企業向けプレゼン

ナショナルプロジェクト等の採択を受けました。（平成25年2月時点）

【活動成果-2】 大学等の技術シーズの一括発信

下のWEB画面の中部地域の大学等研究機関名、技術分野名をクリックすることで技術情報検索ができます。



URL: www.chubu.meti.go.jp/jisedai_jidoushiya/chb_car_technology/top.html 平成24年12月 中部経済産業局WEB発信

次世代技術シーズに関するお問い合わせは以下にお願いします。

次世代自動車地域産学官フォーラム プロジェクト化研究会事務局

(公財)名古屋産業科学研究所 中部TLO mail: jisedai@nisri.jp URL: www.nisri.jp/jisedai/index.html